

覚えておきたいクラウド&データのキホン(第8回)

データマッピングとは何か？ビジネスでの必要性、おすすめのツールを紹介

2022.03.31



データマッピングは、異なるデータベースのデータを移行や統合する際に、整合性を確保するために使われるプロセスです。本記事ではデータマッピングを行うための手順やビジネスでの必要性、各種データマッピングツールについて紹介します。

データマッピングとは何か？

データマッピングは、異なるシステムで管理されているデータにおいて、重複する項目や要素を関連付けるデータ処理です。データマッピングを行うことで、一方のシステムの項目を変更した際、もう一方のシステムにも自動的に反映させることができます。

近年はスマートフォンやクラウドの普及により、企業活動でもさまざまなデータの収集が可能になりました。それらのデータを分析するために、収集したデータの移行や変換、統合を行うケースが増えたことから、データマッピングの重要性も高まっています。

データマッピングのビジネスでの必要性

データマッピングはデータ管理における重要なプロセスとなります。

データ移行

あるデータベースに蓄積されたデータを、異なるデータベースへと移動させることです。データマッピングをせずに移行すると、データフィールドの整合性が取れずエラーが発生する可能性が高まります。

データ変換

データのフォーマットを移行先のデータベースに合わせて変換させることです。データを移行・統合する前に変換をしておくことが必要となります。

データ統合

複数の場所にあるデータをまとめ、ユーザーが同一のフォーマットでデータを活用できる状態にすることです。

ビジネスユースできるデータマッピングツール… 続きを読む